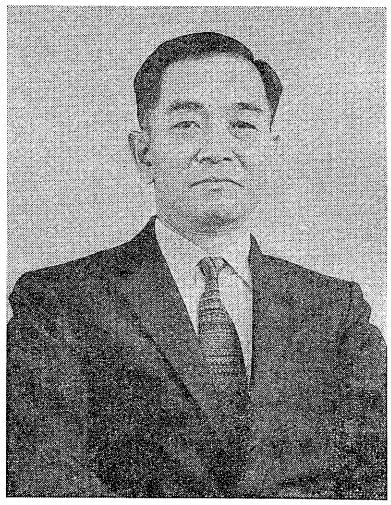

配電特集号に寄せて

Foreword

常務取締役　上　田　利　器
Riki Ueda

経済の発展に伴い，電力需要も大幅に増加し，電気エネルギに対する依存度はますます高まり，これにつれて電気エネルギ供給設備は性能・経済性とともに，信頼性・安全性が要求され，事実，近年電気機器のこの面での向上はめざましいものがある．各システムとしての協調を重視した合理的な配慮が払われつつあることは，当然のことながら注目すべきであろう。

最近の配電設備は単位容量も大きくなり，また，都市再開発によるビルの近代化，超高層化，各種生産設備の多様化ならびに生活様式の高度化に応えるため各種の新しい機器および方式が開発され，この部門の近代化が社会的要請として急速に進められている。

当社はこうした情勢推移の中にあって，早くより配電システムとしての総合的な採りあげ方を行ない，その中で，常に最も適した技術開発を行ない，多くの納入実績を得ている．すなわち，各種しゃ断器とその応用機器をはじめ開閉機器類，ヒューズ，ネットワーク配電機器，自動検針，集中検針機器などで高圧低圧の各単体とその適用手法，あるいは保護・構成方式など配電という大きな面的な広がりをもった分野に対し，きわめて広い範囲にわたっているが，これらの成果の一部をまとめてご紹介するために配電特集号の発行を企画した次第である。

これらの成果は日頃ご愛顧いただいている需要家および関係各位のご指導によるものが多大であり，この機会に誌上を借り厚くお礼申しあげるとともに，古い歴史を持ち，かつ常に新しく生まれ変わりつつある配電設備の開発と生産に一層の努力を傾け斯界に貢献したい所存である．今後のご指導とご援助をお願いするものである。

e-Front runners

＊本誌に記載されている会社名および製品名は，それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。